



2019年度ピティナ・ピアノコンペティション 課題曲セミナー

ピティナ特級グランプリ(2003)、ショパン国際ピアノコンクール第4位(2005)、ピティナ指導者賞受賞、ピティナ・ピアノコンペティションにおいても様々な級で金賞受賞者を輩出するなど、ピアニストとしても指導者としても活躍中の関本昌平先生にご登場いただきます。小さな級の曲でも思わず感動させられるその音色は必聴です。コンペティション参加に関わらず、ぜひ聴きにいらしてください。

主にA1級～C級のバロック・古典・ロマン・近現代曲を中心に取り上げます。※一部抜粋となる場合がございます。

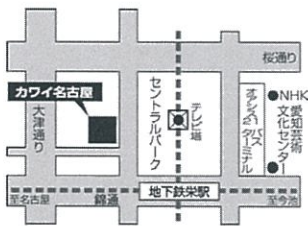
2019年 3月16日(土) 10:00-13:00
カワイ名古屋2F コンサートサロン“Bourree”(ブーレ)



講師：
関本 昌平 先生

1985年生まれ。大阪府出身。国際コンクール初参加の18歳で、第5回浜松国際ピアノコンクール第4位。2005年、20歳で第15回ショパン国際ピアノコンクール第4位、第5回モロッコ国際音楽コンクール優勝。桐朋女子高校音楽科(共学)卒業後、2005年エコーレ・ノルマル音楽院卒業(ローマ・ミュージック・ファンデーション奨学生)。2006年～2008年桐朋学園大学ソリスト・ディプロマコースに在席。稲垣千賀子、ミハイル・ヴォスクレセンスキー、二宮裕子の各氏に師事。国内では、幼少よりピティナ・ピアノコンペティションに参加、B級金賞、G級金賞、コンチェルト部門最優秀賞、2003年特級グランプリ、ショパン国際コンクール in ASIAでは中学生部門及び第2回派遣コンクールいずれも金賞。ヴェルビエ音楽祭アカデミーコンサート(スイス)、アニマート音楽祭(パリ・コルターホール)、NYカーネギーホールでの2000年ワイルリサイタルホール、2005年ザンケルホール、2006年アイザック・スターンホールでの“THE PASSION OF MUSIC”コンサートに参加他、イタリヤ、ドイツでソリスト・リサイタル、ロンドン・カドガンホールにてイギリス室内管と共演。国内では、ワルシャワ国立フィルやモンテカルロフィルとの国内ツアー、ザルツブルク室内管、兵庫芸術センター管、関西フィル、日本フィル、読響、NHK響、大阪フィル、日本センチュリー響等と共演、第8回松方ホール音楽賞大賞、第1回福田靖子賞、第15回青山音楽賞新人賞、第32回日本ショパン協会賞を受賞。2009年よりNYに移住、研鑽を積む。特にクラリネットのチャールズ・ナイディック氏から大きな影響を受けた。2012年、本格的なソロアルバムとなる「グレイバル〜ブラームス後期作品集」(Sony Music Direct)をリリース、朝日新聞他で取り上げられた。2013年、NYのベテラン、オライオン弦楽四重奏団とNY・東京他で共演し、好評を得た。また、テレビ朝日系「題名のない音楽会」や、第32回横浜市招待国際ピアノ演奏会に出演。現在、NYより日本へ拠点を移し、岐阜県在住。後進の指導にも熱心で、全国各地のセミナーやマスタークラスに招かれている。名古屋音楽大学特任准教授、金城学院大学非常勤講師、菊里高校非常勤講師。

受講料：
 ピティナ栄支部会員 3,000円
 ピティナ会員 3,500円
 一般 4,000円
 親子(保護者1名+小学生1名) 4,000円
 学生(小・中・高・大学生) 1,000円



▲カワイ名古屋略地図

地下鉄名城線・東山線「栄駅」3番出口より
テレビ塔に向かって徒歩1分 左手のビル

※会場内での撮影・録音は禁止させていただきます。

【主催・お申込み・お問合せ先】

ピティナ名古屋栄支部

TEL:052-962-3939 FAX:052-972-6427

〒460-0003 愛知県名古屋市中区錦3-15-15 CTV錦ビル 1Fカワイ名古屋

協力:一般社団法人 全日本ピアノ指導者協会

下記の申込書にご記入のうえ、お電話またはFAXにて
お申込みください。ピティナHPからのお申込みも可能です。
<http://www.piano.or.jp/seminar/list/compe>



2019年3月16日(土) 関本昌平先生 コンペ課題曲セミナー申込書

氏名	ふりがな	会員種別	<input type="checkbox"/> ピティナ栄支部会員 <input type="checkbox"/> ピティナ会員 <input type="checkbox"/> 一般 <input type="checkbox"/> 親子 <input type="checkbox"/> 学生			
		e-mail				
住所	〒	TEL	()	
		FAX	()	

※お客さまが本書面に記載された個人情報、法令で定める場合のほか、お客さまの承諾なしに他の目的には使用いたしません。